

まちなみ景観に関する調査結果

西宮市市政モニターの皆様を対象に2023年2月にまちなみ景観について調査を実施し、ご意見をお聞きしました。ご回答して頂きましたモニターの皆様には、厚くお礼申し上げます。

■有効回答率：79.9%（有効回答者数 381人）

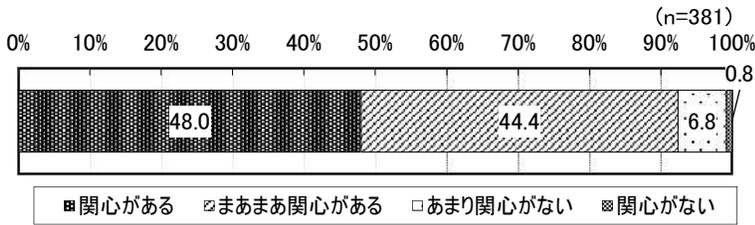
■有効回答者の構成割合について

男性：52.0%、女性：48.0%、その他：0.0%

10歳代：0.8%、20歳代：7.6%、30歳代：16.3%、40歳代：23.4%、50歳代：23.6%、60歳代：16.0%、70歳代：10.5%、80歳以上：1.8%

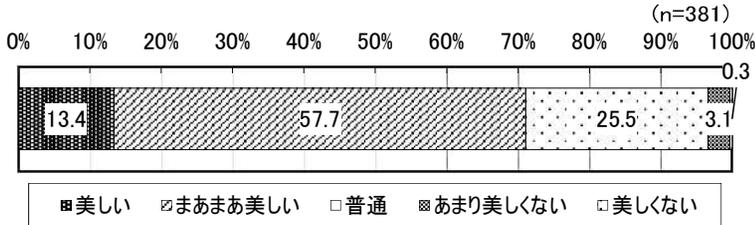
※各選択肢の構成比(%)は小数点第2位以下を四捨五入しているため、構成比の合計が100%にならない場合があります。また、「複数選択可」と表記された設問は選択肢の構成比(%)の合計が100%を超える場合があります。

問 あなたは西宮のまちなみ景観について、関心がありますか。いずれか1つを選択してください。



まちなみ景観について、「関心がある」が48.0%と最も多く、次いで「まあまあ関心がある」が44.4%となり、合計すると92.4%の人が関心を持っています。

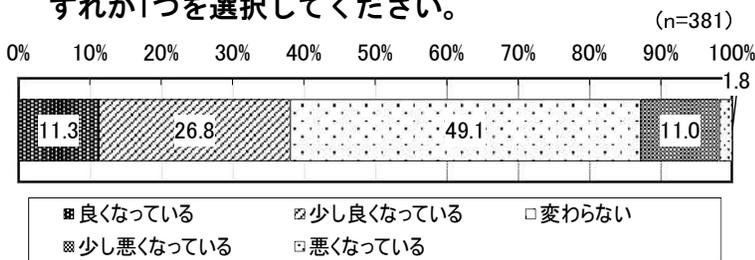
問 あなたは、西宮のまちなみ景観について、どのような印象を持っていますか。いずれか1つを選択してください。



まちなみ景観への印象について、「まあまあ美しい」が57.7%と最も多く、次いで「普通」が25.5%となっています。

「美しい」と「まあまあ美しい」を合計すると、71.1%の人がまちなみ景観について美しいと感じています。

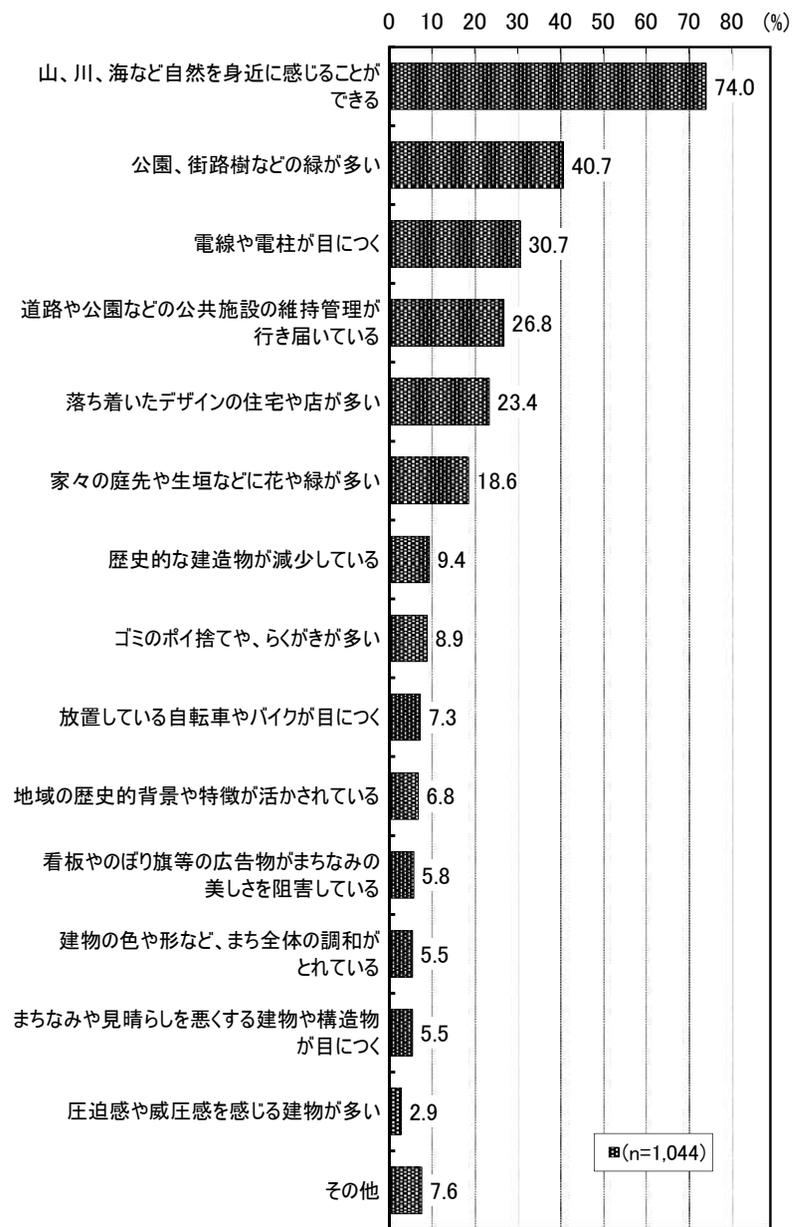
問 全体として、最近の西宮のまちなみ景観は西宮市に住みはじめた頃と比べてどう変化していると思いますか。いずれか1つを選択してください。



まちなみ景観への印象について、「変わらない」が49.1%と最も多く、次いで「少し良くなっている」が26.8%となっています。

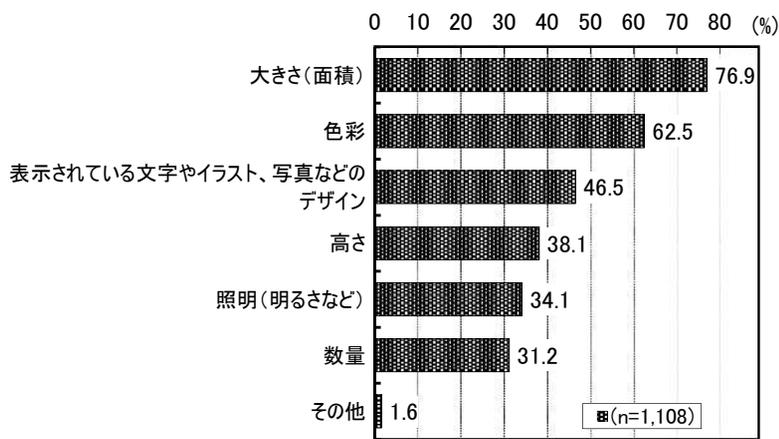
「良くなっている」と「少し良くなっている」を合計すると、38.1%の人が西宮市に住みはじめた頃より良くなったと感じています。

問 あなたは、西宮のまちなみ景観について、どのように感じていますか。あてはまるものを3つ選んでください。



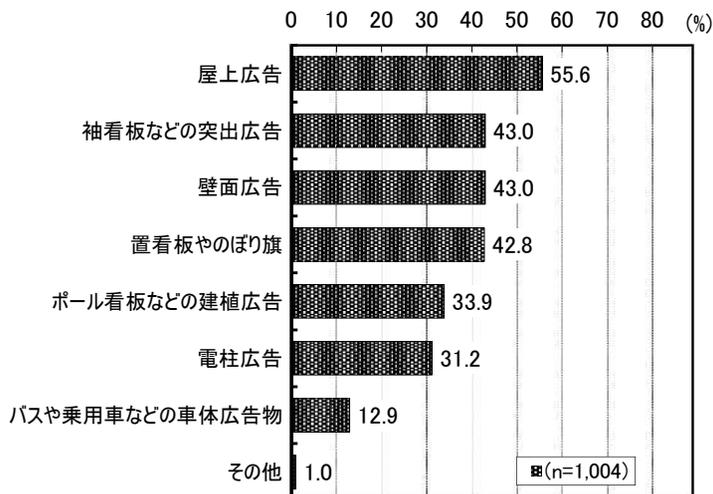
まちなみ景観について感じる点として、「山、川、海など自然を身近に感じることができる」が74.0%と最も多く、次いで「公園、街路樹などの緑が多い」が40.7%などと続いています。

問 屋外広告物の次の要素について、特にまちなみへ与える影響が大きいと感じるものを選んでください。あてはまるものをすべて選んでください。



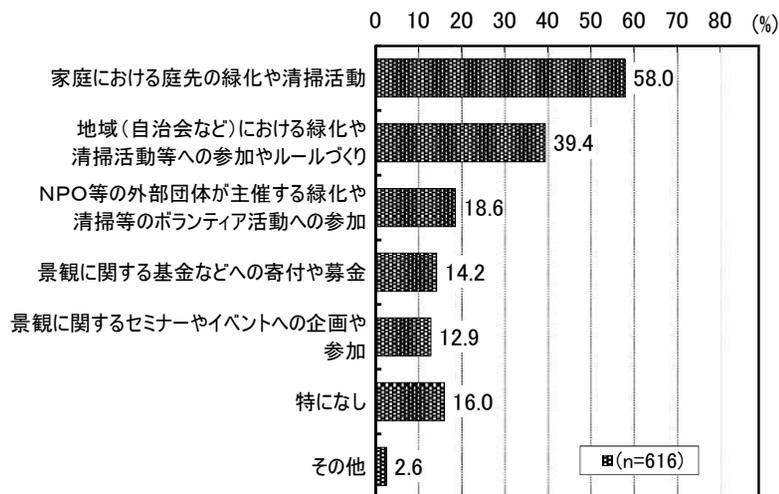
屋外広告物がまちなみへ与える影響が大きいと感じるものについて、「大きさ(面積)」が76.9%と最も多く、次いで「色彩」が62.5%などと続いています。

問 どの種類の屋外広告物が、まちなみへ与える影響が大きいと感じますか。あてはまるものをすべて選んでください。



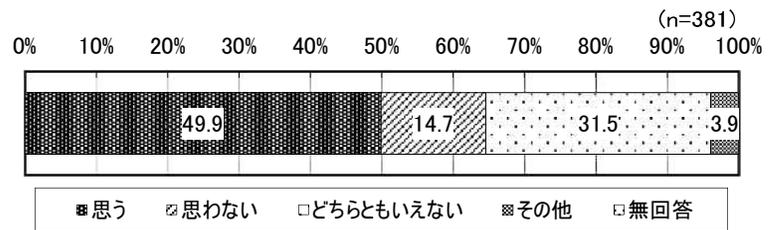
まちなみへ与える影響が大きい屋外広告物について、「屋上広告」が55.6%と最も多く、次いで「袖看板などの突出広告」「壁面広告」がともに43.0%などと続いています。

問 まちなみ景観を美しくするために、あなたが実行してもよいと思う行動、参加してもよいと思う活動について主なものを最大3つまで選んでください。



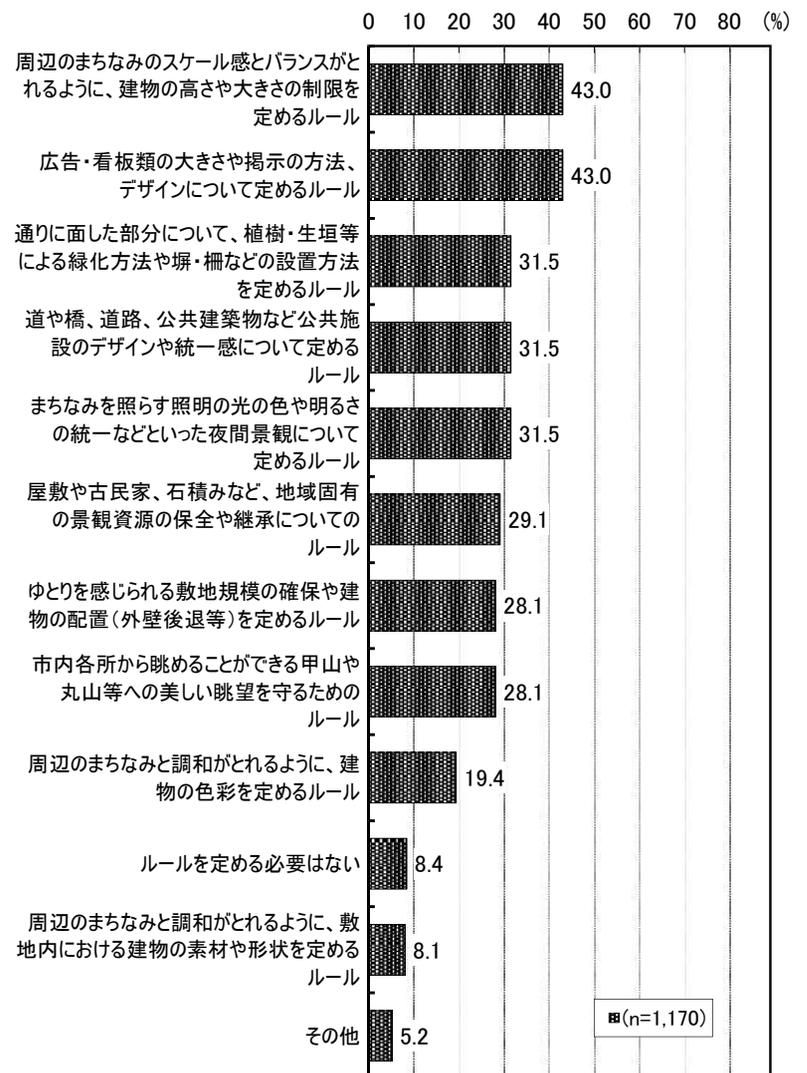
まちなみ景観を美しくするために取り組んでもよい活動として、「家庭における庭先の緑化や清掃活動」が58.0%と最も多く、次いで「地域(自治会など)における緑化や清掃活動等への参加やルールづくり」が39.4%などと続いています。

問 公共施設の外観やデザインによりまちなみ景観が良くなるならば、コストをかけてもよいと思いますか。いずれか1つを選択してください。



まちなみ景観を良くするコストをかけてもよいと思うかについて、「思う」が49.9%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が31.5%となっています。

問 まちなみ景観を美しくするために市が主体となってどのようなルールを定める必要があると思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。



まちなみ景観を美しくするために定めるべきルールについて、「周辺のまちなみのスケール感とバランスがとれるように、建物の高さや大きさの制限を定めるルール」「広告・看板類の大きさや掲示の方法、デザインについて定めるルール」がともに43.0%と最も多く、次いで「通りに面した部分について、植樹・生垣等による緑化方法や塀・柵などの設置方法を定めるルール」「まちなみを照らす照明の光の色や明るさの統一などといった夜間景観について定めるルール」が31.5%などと続いています。